

A 達成できている B ほぼ達成できている C 改善が必要

評価内容	園評価	
<p><b>保育理念【共に育ち合う】</b>                      のびのび〔健康〕                      安心してのびのびと過ごす                      いきいき〔表現〕                      自分の思いをいきいきと表現できる                      ありがとう〔感謝〕                      ありがとうと言われる経験をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入職の職員方が自園の仕事の流れを理解して下さり、とてもスムーズに1日の保育が流れるようになった。自園は、壁のない保育園である為、職員同士の意志の疎通が重要となる。全職員が保育理念を理解し、同じ思いのもと保育を行う事が、保育園全体の成長に繋がると考える。今年度はこの目標が達成でき、職員の思いが一つになった事を実感することが出来た。</li> </ul>	A
<p><b>子どもの発達、保育の内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの把握が重要であることは言うまでもないが、学年ごとの発達過程をこれまで以上に意識をして保育を行った。それにより、一人ひとりの目標が明確になり、細かい援助が出来るようになった。</li> <li>・来年度はクラス担当をご父兄に提示し、クラス意識を高めていくようにしていきたい。</li> </ul>	A
<p><b>養護に関するねらいと内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染対策もあり、保育室や備品等の消毒は習慣づいている。今後も気を緩めることなく徹底していきたい。</li> <li>・片付けについてもこまめに行い、常に保育室や職員室の整理整頓を心掛けることで、清掃がしやすくなり感染対策にもつながっている。業務の動線を意識した収納に改善した事で、無駄な動きが減り、効率的に働けるようになった。</li> <li>・登園時に検温チェックを徹底した。朝の忙しい時間にご協力下さったご父兄の皆様へ感謝したい。検温と同時に対話での健康チェックもでき、とても効果があったように思う。今後も続けていきたい。</li> </ul>	A
<p><b>教育に関するねらいと内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年活動を今まで以上に充実させるようにした。話し合いを重ね、子どもたちに必要な活動、遊びを探求した。その結果、子どもたちにも変化が見られ「自分の事は自分で頑張ろうとする姿」「難しい遊びにも挑戦しようとする姿」がたくさん見ることができ、職員も環境設定の重要性を再確認した。来年度は、さらに工夫を重ねたい。</li> <li>・園外活動では、草花あそび、虫探しなど、季節に合った遊びがとても充実している。来年度は身体を使った運動遊びの探求を次の課題とし、さらに運動遊びが楽しめる環境を見つけていきたい。多彩な活動の経験が、子どもたちの意欲を育てる事を実感した一年であった。</li> </ul>	B

<p>職員の連携 資質向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士の雰囲気はとても良く、助け合いながら働く事ができていると感じる。</li> <li>・コロナ感染への警戒から、食事の際の会話もできないなど、職員同士の関係を深める機会が無くなっている。それについてはとても残念を感じる。</li> <li>・研修会への出席についても、感染の拡大により断念したりと、参加しづらい現状である。</li> </ul> <p>研修は、自分の保育を見直すとても重要な機会である為、今後も積極的に参加できる環境を整えていきたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会の開催回数を昨年度より、大幅に増やす努力をした。職員の意識を一つにまとめる事で、一人ひとりに対する援助が向上し、その結果、子どもたちの成長を感じる事が出来た。全職員で全園児を育てる事を大切に、来年度も全職員で心一つにしていきたい。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度入職された職員4名が、それぞれスキルを存分に発揮し、自園にとっても良い影響をもたらしてくれた。他の職員もこの4名の職員の良い影響を受け、新たな気持ちで保育に取り組む事ができた。</li> <li>保育内容、雑務、書類の書き方を職員で話し合いをしながら、内容の見直しを行った結果、以前よりも効率の良い保育を行う事ができた。</li> <li>職員が気持ちを一つに、笑顔で業務に取り組んでいる事が、職員の努力の成果の現れである。</li> <li>・昨年よりも、学年会の回数を増やし、子どもたちのへの援助方法をより細かく話し合うようにした。保育士の思いが、子どもたちの成長にとっても大きな影響を与える為、今後も大切にしていきたい。</li> <li>・外部の研修にも積極的に参加するようにした。人員の問題から、断念をした研修もある為、来年度はできるだけ多くの研修に参加できるよう、勤務体制を工夫していきたい。</li> </ul>	<p>A</p>